

城取博幸の

福島県二本松のスーパーマーケット見聞録

N0141

2021年4月

城取フードサービス研究所

城取 博幸

NHKドラマ「青天を衝け」

京都の「鳥羽伏見の戦い」からいきなり「函館戦争」にジャンプしてしまった

白河口の戦い、二本松の戦い、長岡の戦い、会津の戦いはスルーされてしまった

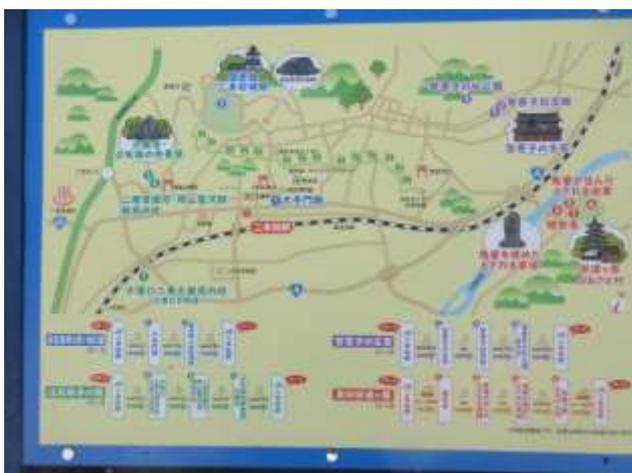
二本松駅(2021年5月訪問)

上野から東北新幹線で郡山、郡山から普通列車で二本松へ



案内図

駅前を直進し大手門跡、歴史資料館を見て二本松城跡(霞ヶ城跡)に向かう



名所案内

今回は霞ヶ城公園が目的



少年隊の像

この像は「成田才次郎」か

これは後程詳しく説明します



駅前の道を直進



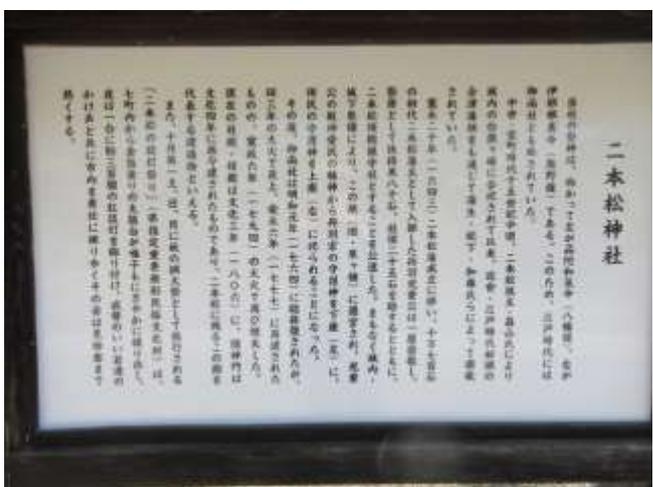
二本松神社



鳥居の横に火の見やぐら



二本松神社説明



右方向に進む

「霞ヶ城公園」が二本松城跡だ



右の道は国道 355 号線、旧奥州街道だ

伊達氏の参勤交代はここを通り江戸に向かった この区間は伊達の行列の槍先は二本松城に向けていたという それだけ伊達とは因縁の深い城



案内図



大手門跡の石垣



当時の石垣



門の基礎に使われた礎石



礎石

大手門に使われた石



二本松藩丹羽家上屋敷跡出土の石垣石材



二本松市歴史資料館



竿灯(かんとう)



展示物



縄文時代の土器



弥生時代の土器



パンフレット



展示内容



歴史資料館から二本松城址までは歩いて 25 分
それでも歩いて行こうと思う



二本松城に向かう上り坂



両側は広葉樹の小高い丘になっている



ツツジが満開



丘の頂上付近
門と櫓の跡のようなもの残っている



急な下り坂 坂を降りれば左側に二本松城跡



城の上からの景色

この地方は広葉樹が多い



地元伊那谷の山



殆どが針葉樹だ



古地図を見ると城の周りがよくわかる



大手門(中央手前)から箕輪門(左中央)までは徒歩で 25 分もかかる

大手門からこんなに歩く城は見たことがない

それは、広葉樹の小高い丘が砦の役を果たしている

水堀はなくても丘が城を囲んでいる

広葉樹であるため、冬以外は葉の茂みが隠れ蓑となり敵を上から攻撃できる

高い所から低い所に攻撃したほうが断然有利だ

そんな自然の構造が城を守っていた

大手門前の道が江戸の五街道「奥州街道(国道 355 号線)」だ



二本松城

石垣、箕輪門は南、関東を向いて睨みを効かせている

何時の時代か分からないが南の防衛を強化している



石垣と櫓(やぐら)



古さと新しさが混じった石垣



周りは川が流れている



二本松少年隊の像



藩のため、家族のため

少年たちは勇敢に戦った

大東亜戦争の学徒出陣によく似ている

藩、日本の将来のために若者を兵士として使うべきではなかった

当時の教育が悪かった

これを「カッコいい」と思わせてはいけない



説明文



戊辰戦争当時の話

二本松城は、老人、子供しか残っていなかった

会津の白虎隊よりも若い13歳、14歳の子供が薩長軍と戦った



もう一つの白虎隊 「二本松少年隊」 13歳の壮絶な戦い...

詳しくは

涙、涙の話です

もう一つの白虎隊「二本松少年隊」13歳の壮絶な戦い！幕末戊辰戦争の悲劇といえば「会津白虎隊」を思い出す人が多いと思います。しかし、福島二本松藩では、白虎隊よりもっと若い少年たちが大人たちと戦い、その命を散らしました。彼らは「二本松少年隊」と呼ばれています。この動画は武士道に殉じた少



年たちのエピソードをご紹介します。 www.youtube.com

城の案内図

二本松城は平山城 手前が平坦で、奥は山



散策図 ハイキングに丁度いい



霞ヶ城



箕輪門

三方から攻撃できる虎口になっている



次回は二本松城公園の散策

[霞ヶ城\(二本松城\)跡公園 ②](#)

2021-09-02 16:59:12

霞ヶ城(二本松城)跡続き



二本松城(霞ヶ城)城主は、二本松氏、伊達氏、蒲生氏、上杉氏、加藤氏、丹羽氏
箕輪門の石垣は南に睨みを効かせている

この石垣は誰の時代か分からないが、私は伊達氏の時代ではないかと思う



立派な長い石垣はここだけ 山の頂上に本丸が建てられたがこれほどではない



白河城(小峰城) 城主は、白河結城氏、蒲生氏、丹羽氏、松平氏、阿部氏
城下から見る天守



城の裏側を見ると石垣の要塞のようだ



「北の伊達氏に睨みを効かせた石垣」だとボランティアの方は話してくれた
城の大手門と石垣の方向を見てその時代の考察をするのがおもしろい



丹羽長秀

織田信長の家臣で、1573年に越前の朝倉氏(一乗谷)を攻め、

信長の命令で朝倉義景の母と世継ぎの愛王丸を殺害した

その後「越後守」となる

詳しくは

**【3分で丸わかり日本史】(53)丹羽長秀 オールラウンドの織田軍団宿老 米五郎左
信長支え天下統一!Niwa Nagahide Samurai Japan!**【3分で丸わかり日本史】(1)蘇我馬子

<https://youtu.be/w3dZwSLJWfY>【3分で丸わかり日本史】(2)明智光秀 <https://youtu.be/A-T9DEVDTLo>【3分で

丸わかり日本史】(3)福沢諭吉 <https://youtu.be/Ae2ruYcWe5Y>【3分で丸わかり日本史】(4)聖...



丹羽長重

長秀の長男 君主は、織田信長、豊臣秀吉、秀頼、徳川家康、秀忠、家光

1600年、関ヶ原の戦いでは西軍として東軍の前田利長と戦う

戦後一旦「改易」となったが、1603年常陸国古渡(現在の茨城県稲敷市)1万石を与えられる
後に功績が認められて白河小峰城を築城

詳しくは

丹羽長重 理不尽な扱いにも不満を言わず…真面目さが生んだ逆転劇 丹羽長重 理不

尽な扱いにも不満を言わず…真面目さが生んだ逆転劇について紹介しています。～目次～■信長重臣・丹羽長

秀の息子として■秀吉の言いがかりがひどい■それでも秀吉に誠意を見せ…いつの間にか西軍へ！？■『北陸

の関ヶ原』浅井礫の戦い■ついに無禄の浪人に転落、しかし手を差し伸べる人物が！■大名復帰の陰にスキル



あり■... www.youtube.com

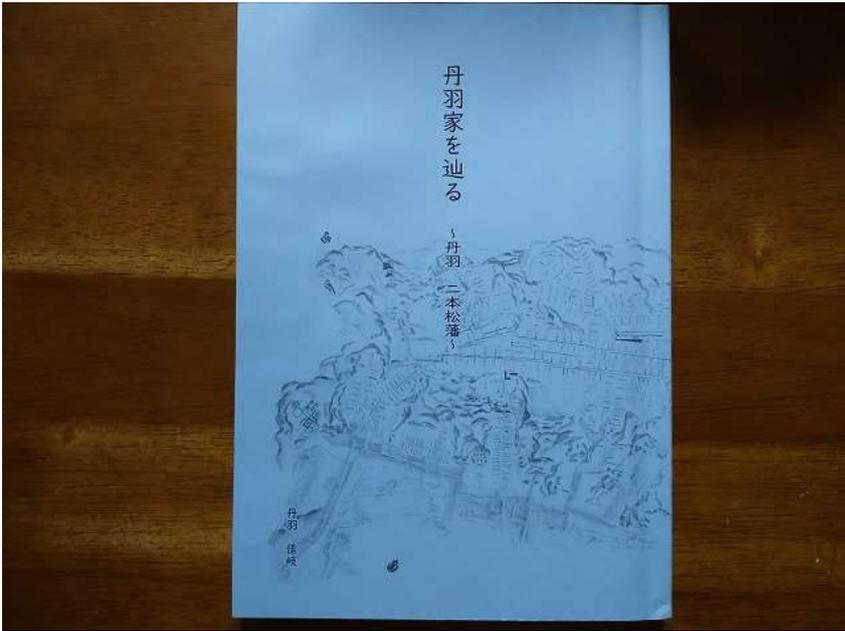
二本松市史料館の「丹羽家興亡の足跡」編集 二本松市教育委員会



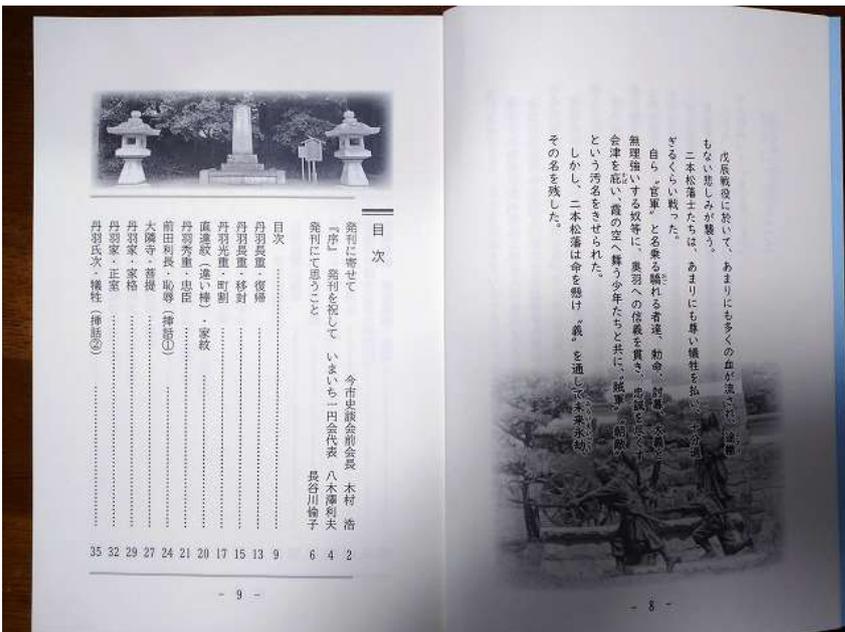
丹羽家の足跡
 現在も子孫は健在



「丹羽家を辿る」丹羽佳岐(にわよしき)著 2021年3月15日 第一刷発行(非売品)
 丹羽氏の子孫で、丁度今年出版された



二本松藩、丹羽家は外様大名でありながら、奥羽に義を尽くし、会津をかばい勇敢に戦った
 長岡藩、庄内藩も同じく会津をかばい戦った
 同じく外様大名の米沢藩、仙台藩は奥羽越列藩同盟から外れ官軍に恭順した
 会津松平家は、福井藩松平家と並ぶ親藩大名(徳川の血筋)の代表格
 福井松平家はすんなりと恭順したが、会津は最後まで戦った
 会津藩家臣の西郷頼母(たのも)が容保に恭順を勧めたが応じなかった
 容保の気持ちも分からないでもない



霞ヶ城公園散策図

天気もよくハイキングには最高の季節



矢輪門

「×印」は丹羽氏の家紋

初代藩主丹羽光重公入府まもなく建造された門



虎口(こぐち)

両側は櫓跡



石を切り出した跡



三の丸跡



説明文



山口脩(やまぐちおさむ)翁の銅像



明治6年日本で最初の民間機械製糸草分け「二本松製糸株式会社」を設立
戊辰戦争後、志を海運業に求めたが、三菱の岩崎弥太郎に「君の故郷には養蚕という天賦がある」と言われる
1873年、小野組(三井系)の援助を得て、政府拝借金で株式会社を設立
渋沢栄一の時代だ



るり池

小規模な回廊式庭園 重光公時代のもの

小高い丘の上に建物が見える



洗心亭

城内に唯一残る江戸時代の建造物 当時は「墨絵の御茶屋」と呼んでいた



上からの景色



洗心滝



霞ヶ城の傘マツ

「八千代の松」 樹齢 350 年 一本の松から三方に枝を伸ばしている



説明文



本丸に向かう



二合田用水



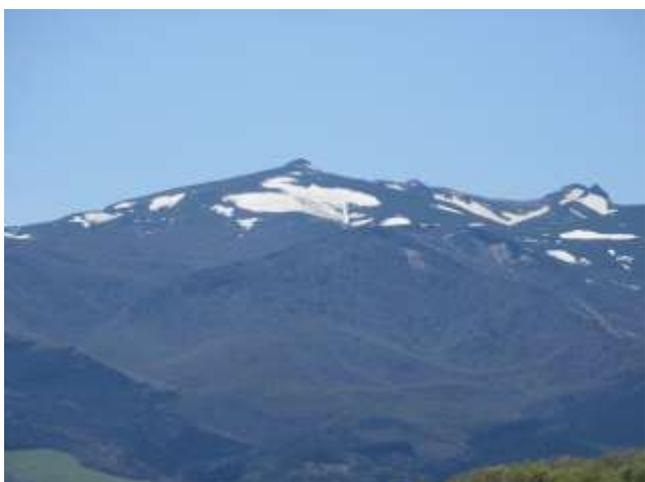
城防衛を目的に18kmもの距離から城内に吸引した用水路
時間があればここを歩いてもおもしろい



ここはサラサラとした火山灰地



この高い山が噴火



智恵子抄詩碑



高村光太郎直筆の「樹下の二人」「あどけない話」



説明文



少年隊の丘 慰霊碑



橋本高昇制作ブロンズレリーフ



椿の白い花が落ちてる
椿は潔い花と言われている



搦手門(からめてもん)跡 大手門に対する裏門のこと 畠山氏、蒲生氏時代



説明文



本丸跡 室町時代の畠山氏の居城

会津領時代に蒲生氏、加藤氏により石垣で築造されたが、天守閣はできなかった



本丸跡



これは



戊辰戦争時 丹羽和左衛門、阿部井之丞自尽碑



北向き(伊達氏方向)の景色



石垣



石垣の説明



日陰の井戸

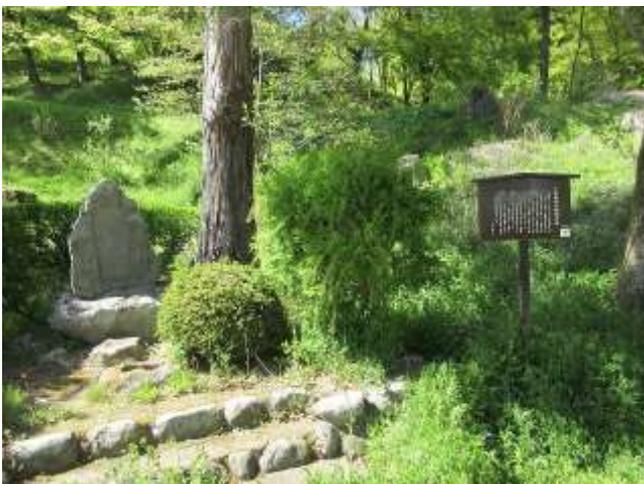


日本の三大井戸

深さ14m、底から北方に12mあまり横掘りされているという



二本松藩士自尽の地



説明文



大手門に戻る



他には旧二本松蕃戒石銘碑があるが、時間がなく昼食に
門の前のレストラン「かすみ」



ヘルシー定食



メインは蒸し鶏(鶏ムネ肉)の白ごまソース



二本松を少し甘く見ていた
もう少し時間をとればよかった
二本松を後にして米沢に向かう